

読売新聞（3月23日）に掲載の

「Multi Aqua（マルチアクア）」について

株式会社テクノフレックス
代表取締役社長兼社長執行役員 前島 岳

2020年3月23日付の読売新聞朝刊に、当社グループの株式会社アクアリザーブ（以下、「アクアリザーブ社」といいます。）が製造販売する貯水タンク「Multi Aqua（マルチアクア）」が、掲載されました。以降、マルチアクアに関するお問い合わせが増加しておりますため、改めて製品概要につきご説明申し上げます。

（ご参考）

- 読売新聞 2020年3月23日 朝刊 暮らしコーナー「自宅に貯水タンク 災害に備え」
アクアリザーブ社のホームページに記事を掲載しております。
新聞記事 URL <https://aquareserve.co.jp/202004081427/>
- また、アクアリザーブ社のホームページには、マルチアクアの詳しいご説明がございます。
マルチアクア製品紹介 <https://aquareserve.co.jp/product/>

マルチアクアの開発経緯

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際、帰宅困難者の飲用水が不足する事態が起きました。ペットボトルの備蓄に頼った飲用水確保に限界を感じた当社は、災害時用の貯水タンクの製造販売会社としてアクアリザーブ社を設立し、研究開発の末、マルチアクアを販売開始いたしました。



◀ KMA2000 シリーズ

- 1本あたり約120リットルの貯水が可能。
- 左下は6本束ねた設置例。貯水量約720リットル。

※ 断水の際、給水車到着までの期間は、約3日と言われております。飲用水以外の生活用水を含めると、4人家族が3日間に必要とする水の量は、約120リットルになります。

マルチアクアの普及について

マルチアクアは、国土交通省の国土強靱化政策「緊急促進事業助成金」の対象となり、普及が加速しております。

2018年には、大手自動車ディーラー様が、都内10区1市と「災害時における帰宅困難者の一時滞在施設に関する協定」を締結され、マルチアクアを順次70店舗に導入する旨を表明されました。このことにより、公共施設、協会、宗教法人などへの設置が増加いたしました。

2019年には、台風や地震などによる災害が相次いだことから、「自宅避難」の意識が広まり、個人住宅でのニーズが拡大したことを受け、個人住宅向けに小型化したマルチアクアの販売を開始いたしました。また、大手ハウスメーカー様とのタイアップも開始したことにより、更に普及が加速しております。

今期2020年は、1月～3月のハウスメーカー様向け販売実績が、前年同期比で**6倍強**を記録いたしました。より多くの方々に「安全・安心」をお届けすべく、第2四半期以降も、引き続き普及に努めて参ります。



◀ KMA750 シリーズ

- 個人住宅向けに小型化したマルチアクア。
- 貯水量は、約43リットル。

※ 給水車到着までの3日間に必要な飲用水量、4人家族で36リットル以上の貯水性能を有します。

お問い合わせ先

マルチアクアに関するお問い合わせは、下記までご連絡をお願いいたします。

株式会社アクアリザーブ（東京都台東区蔵前1-5-1）

- 電話 03-6858-5311
- ホームページからのお問い合わせ <https://aquareserve.co.jp/contact/>

以 上